

# 論文審査の要旨

報告番号	修第 1284号	氏名	藤後秀輔
論文審査担当者	主査 田中一正 副査 富田真佐子 副査 梅田 恵		
(論文審査の要旨)			
論文題名：看護師の専門職連携実践（IPW）の必要性の認識と実践についての検討 —より有効な専門職連携教育（IPE）の在り方の構築を目的として—			
<p>研究対象大学病院の看護師 2,625 名を対象として 2012 年に日本保健医療福祉連携教育学会において翻訳された米国の「専門職連携実践のためのコア・コンピテンシー」を基に作成した「価値観/倫理」「役割/責任」「コミュニケーション」「チームワーク」の 카테고리からなる「チーム医療のコンピテンシー（38 項目）」に対する「認識」と「実践」の状況について、自記式アンケートで調査を行っている。分析対象は 1791 名（68.3%）と大きなデータでの解析となっている。卒前に IPE を受けたものは 27.6%、現任中に IPE を受けたものは 15.4%で、卒前に IPE を受けた看護師の年齢は有意に低かった。チーム医療に対する「認識」は 79.5%で、「実践」は 71.9%であり、「認識」と「実践」の比較では「実践」が有意に低く、「認識」「実践」ともに卒前および現任 IPE を受けた群で有意に高い。</p> <p>また、現任 IPE を受けたものは卒前 IPE を受けたものに比較して「役割/責任」「コミュニケーション」「チームワーク」の「実践」に対する効果が高い結果を報告している。IPE の行われている割合は必ずしも多くはないが、卒前 IPE はより若年者で普及しつつある傾向を示している。これらの分析結果から、卒前 IPE の促進とともに、卒前 IPE では、チーム医療に対する知識をより体験的に学ぶための教育の重要性が、現任 IPE では、卒前 IPE を基盤にチーム医療実践能力を深めるための具体的な実践案を個々の臨床場面で学ぶための教育の重要性を示し、卒前から現任にかけて継続した専門職連携教育の必要性を示した。</p> <p>本論文は解析の結果から、卒前 IPE によるチーム医療意識の促進を示し、現任 IPE の継続により「役割/責任」「コミュニケーション」「チームワーク」の「実践」認識が高まる結果を示し、IPE 教育の有効性を示すとともに、本研究は、チーム医療としての段階的・体系的学習法の開発基盤となる研究指標を得たものと評価される。</p> <p>以上より、本論文は学術的価値があり、学位論文に値すると判断した。</p>			